

麦栽培管理情報（播種作業）

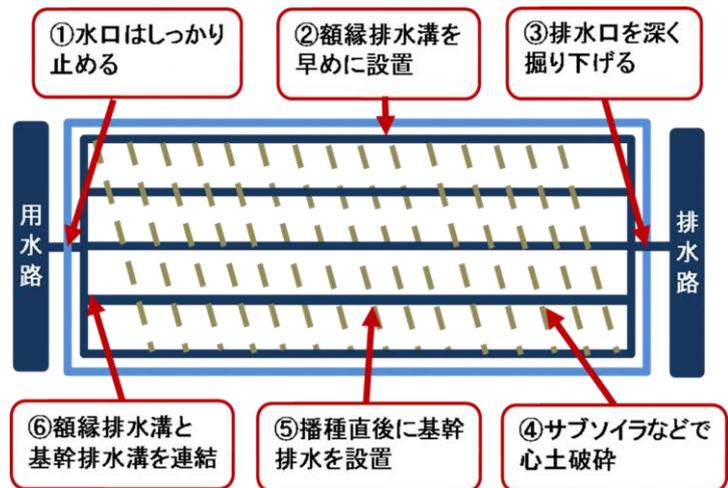
令和4年9月1日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

麦は湿害に弱いため、排水対策を徹底し、ほ場が乾いた状態で播種することが最も重要です！

麦栽培予定ほ場では、稲刈り後、速やかに額縁排水溝等を設置しましょう。

排水対策

- ◆稲刈り後、速やかに額縁排水溝（目標の深さ 30 cm）や基幹排水溝を設置しましょう。
- ◆透水性の悪いほ場では、斜めがけで心土破碎を行いましょ。
- ◆播種後は、各排水溝を深く掘り下げた「排水口（水尻）」に連結しましょう。
- ◆降雨後は、溝の手直しを行い、確実に排水されるようにしましょ。



※心土破碎と額縁排水溝は必ず連結する

土づくり対策

- ◆耕起前に、石灰質資材（苦土石灰：100kg/10a 以上）を施用し、pH6.0～6.5 に改善しましょ。
- ◆発酵鶏ふん 150kg/10a を施用し、加里等の不足養分を補給しましょ。

基肥

- ◆基肥は、下表を参考に施用しましょ。過剰施肥は硝子質粒の多発等、品質低下の要因となります。

【基肥施用量の目安】

(kg/10a)

肥料名	大麦	小麦
Jコート大麦48号 (基肥一発体系)	45	50

適正量が施肥されているか、最初のほ場で確認しましょ！

播種時期と播種量

- ◆大麦では、生育量を確保するため、9月26日頃から計画的に実施し、原則として10月上旬までに播き終えましょう。
- ◆播種量は、下表を目安に、播種時期に応じて調整しましょう。
- ◆播種深さが3cm程度になるよう播種機の調整を行いましょう。
- ◆降雨が続き土壤水分が高い場合は、土が乾くのを待ってから播種しましょう。

【目標苗立数と播種量の目安（ドリル播き）】

播種時期	目標苗立数 (本/m ²)	播種量の目安 (kg/10a)	
		大 麦	小 麦
9月26～30日	140	6.0	
10月上旬	150	6.5	8.0
10月中旬	200	8.5	9.5

雑草防除

- ◆雑草の発生が多いほ場では、播種直後に除草剤を使用しましょう。

【除草剤の使用時期と量の目安】

除草剤名	使用時期		使用量 (/10a)	摘要雑草
リベレーター フロアブル	播種後～ 麦3葉期	雑草発生前～ イネ科雑草 1葉期まで	60～80ml 希釈水量 100ℓ	一年生 雑草
リベレーターG	播種後～ 麦2葉期		4～5kg	

◆除草剤使用上の注意点

- ・薬害防止と除草効果向上のため、播種時の碎土率を高め、種子が露出しないようにしましょう。
- ・散布直後の多雨は薬害を招くので、天候を見極めて散布しましょう。
- ・除草効果を高めるため、土が湿った状態で散布しましょう。

※麦の葉に白斑症状の出る場合がありますが、その後の生育にはほとんど影響を与えません。

秋の農作業安全運動実施中

8月20日～10月20日

ご不明な点は、JA 高岡 担当営農指導員 または 高岡農林振興センター 高岡班(26-8477)までお尋ねください。